

## 第七期事業計画における各プロジェクトの検証について (推進プロジェクト4 認知症高齢者を支える施策の推進)

第七期品川区介護保険事業計画において、重点課題として掲げた「地域の支え合い体制の強化による地域包括ケアの推進」を図るため、推進プロジェクトの一つである「認知症高齢者を支える施策の推進」について、事業の実施状況等により検証を行う。

### 1. 背景とねらい

要介護高齢者の半数以上に認知症の症状が認められており、今後も認知症高齢者の増加が見込まれる。高齢者の適切な権利擁護や地域ぐるみの認知症ケアの拡充は、今後も重要な課題となっている。

区では、引き続き認知症高齢者が住み慣れた地域で可能な限り生活を継続できるよう、介護者支援、普及啓発活動、徘徊等による行方不明高齢者対策、高齢者虐待予防のための認知症高齢者ケアマネジメントの強化を目指す。

また、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護サービスなど、認知症ケアとして有効と考えられる地域密着型の介護サービスの基盤整備を進めるとともに、地域住民の見守りや支え合いによる認知症ケアの拡充を図る。

### 2. 第七期に推進するプロジェクト

#### 推進プロジェクト4 認知症高齢者を支える施策の推進

施策の方向性	主要な事業
(1) 認知症の理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『品川“くるみ”認知症ガイド』やアイテムを活用した普及啓発</li> <li>■ 認知症サポーターの養成の推進</li> </ul>
(2) 認知症予防・早期発見・早期対応の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認知症初期集中支援事業の実施</li> <li>■ 認知症地域支援推進員・認知症支援コーディネーターの配置</li> <li>■ 福祉カレッジにおける「認知症ケア専門コース」の充実</li> </ul>
(3) 認知症高齢者と家族の社会参加、仲間づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認知症カフェの基盤整備</li> <li>■ 認知症高齢者の介護家族向けの介護者教室、応援講座、研修事業の実施</li> </ul>

### 3. 各施策の主要な事業の実施状況等

#### (1) 『品川“くるみ”認知症ガイド』やアイテムを活用した普及啓発

区では、認知症の状態に応じた適切な医療・介護サービスの流れを整理した「認知症ケアパス」が掲載された普及啓発用パンフレット『品川“くるみ”認知症ガイド』を区内施設や在宅介護支援センター、医療機関等に幅広く配布している。また、ホームページで同内容を公開しており、認知症に関する知識や相談先、支援内容など区民の正しい理解を促進し、地域ぐるみで認知症の人や家族の支援を図っている。

#### (2) 認知症サポーターの養成の推進

これまでに全国で1,200万人を超える認知症サポーター（地域で暮らす認知症の人や家族を日常生活の中でサポートする人）の養成が行われ、引き続き各地で拡充に向けた展開をしている。

区でも「品川区認知症サポーター」養成に取り組み、民生委員・児童委員をはじめとした地域住民に対する地域学習会への幅広い参加を呼びかけ、認知症高齢者の理解を地域に浸透させ、地域の中での見守りと支えていくためのしくみづくりに取り組んでいる。引き続き、今後も増加する認知症高齢者が地域での生活を続けられるよう、「支え愛活動」など町会・自治会との連携を強化していく。

主な事業	平成30年度実績	令和元年度実績
認知症サポーター養成講座	67回開催、1,626名受講	71回開催、1,471名受講

#### (3) 認知症初期集中支援事業の実施の実施

区では、平成29年度に認知症（疑い含む）の人や家族に早期に関わる医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を2チーム設置し、複数の専門職によるチーム員の訪問や医療・介護サービスにつなげていくための支援を集中的に行うなど、医療機関等と連携して認知症の人とその家族を地域で支える体制を構築している。

また、医療機関や介護事業所の専門職で構成される「認知症初期集中支援評価委員会」を設置し、チームが行った支援や対応について、検討・評価することで、区における認知症の人への対応の質向上を図っている。

主な事業	平成30年度実績	令和元年度実績
認知症初期集中支援チーム	チーム活動件数 8件	チーム活動件数 7件

#### (4) 認知症地域支援推進員・認知症支援コーディネーターの配置

地域包括支援センターに認知症施策の検討や推進を行う「認知症地域支援推進員」と個別ケース支援のバックアップを担う「認知症支援コーディネーター」を配置し、関係機関と連携した支援のしくみを作っている。

#### (5) 福祉カレッジにおける「認知症ケア専門コース」の充実

「品川福祉カレッジ」では、平成 17 年度に認知症専門コースを開設し、区内の在宅および施設の介護サービス従事者を対象に、認知症高齢者本人の気持ちと尊厳を重視するセンター方式（認知症介護研究・研修センター）によるアセスメント、ケアの考え方を学び実践に繋げている。

今後も、在宅介護支援センター、介護事業者、高齢者施設等の職員の受講を促進し、専門性を高め地域の認知症ケアの質の向上を図っていく。

主な事業	平成 30 年度実績	令和元年度実績
認知症ケア専門コース	受講者人数 延 408 人	受講者人数 延 329 人

### （6）認知症カフェの基盤整備

認知症に対する理解および家族・本人への支援を一層推進するため、認知症の人やその家族、地域住民、専門職等が住み慣れた地域で安心して気軽に集うことができる認知症カフェを運営する取り組みを支援している。

さらに一定の要件を満たした認知症カフェには費用助成を行い、地域の中で認知症の人とその家族を支えるつながりを推進している。

主な事業	令和 2 年 3 月現在
認知症カフェ運営支援	登録カフェ数 21 か所 助成カフェ数 18 か所

※平成 30 年度より区立図書館 3 か所（荏原・五反田・八潮）においても、認知症カフェを開催している

### （7）認知症高齢者の介護家族向けの介護者教室、応援講座、研修事業の実施

介護は家族が介護を要する状態になって初めて意識することが多く、いざ介護をしようと思っても、その方法等が分からず困ってしまう人が多いという現状があるため、区ではNPO法人等と連携して、介護者向けの講座や研修を実施するとともに、介護の普及啓発に努めている。

また、在宅で介護している家族は休みもなく悩みがあっても相談する相手がいないなど、さまざまな問題を抱えているため、家族介護者を支援する事業を実施している。

主な事業	内容	平成 30 年度実績	令和元年度実績
介護者教室	在宅サービスセンターで、介護の方法や食事・健康管理などの講習を行う	実施回数 31 回 参加者 延 394 名	実施回数 20 回 参加者 延 300 名
家族介護者 応援講座	家庭でできる介護の方法や工夫を学ぶとともに、介護者の交流を図る	実施回数 2 回 参加者 7 名	実施なし
在宅介護者 のつどい	介護者相互の交流とリフレッシュを図る	参加者 337 名	参加者 330 名